

総合戦略事業 まちを楽しみ、まちの良さを高める

下野谷遺跡を活用した魅力づくり

1 下野谷遺跡の国指定と今後の取組

西東京市東伏見に所在する、縄文時代中期（今から約 5～4 千年前）の環状集落「下野谷遺跡」は、平成 27 年に国史跡として指定された。

市では、貴重な文化遺産として、多くの方々から愛される史跡を目指し、市民とともに遺跡を保護し、市民との協働によって遺跡の活用事業を展開している。本年度は、市民・事業者等とともに地方創生加速化交付金を活用した取組を実施する。



しーた



のーや

2 平成 28 年度の活用事業

① 3次元CG（VR）のデジタルコンテンツの作成（教育部社会教育課）

「下野谷遺跡」は埋蔵文化財として、地下に保護されているため、現在、直接見ることができない。そこで、本年度は遺跡が存在した風景を眺められる3次元CG（VR）のデジタルコンテンツを作成する。子供も大人も、楽しみ驚くようなコンテンツを観光振興のツールとしても活用し、人の流れと活気を生み出す地域空間の形成を図る。

② 「下野谷遺跡周辺のまち歩き」事業（生活文化スポーツ部産業振興課）

下野谷遺跡周辺における地域密着型の施策に着手することで、市民自らが住むまちの文化財の魅力を再認識する機会となり、市への愛着や地元意識の醸成につなげるとともに、イベントなどを実施し市外からの注目度を向上させ、来訪者数の増加や地域経済の活性化などにつなげる。

③ 遺跡の活用事業に関する鉄道車内広告（企画部秘書広報課）

下野谷遺跡をPRした中づくりポスターを西武鉄道の車両に掲出する。

④ 外国語版下野谷遺跡関連ホームページ・ガイドブック作成（企画部秘書広報課）

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による外国人旅行者の増加を見込み、インバウンド向け下野谷遺跡関連ホームページ及びガイドブックを作成する。

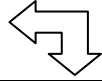
3 スケジュール

5月～平成 29 年 1 月	下野谷遺跡を再現した 3次元CG（VR）の制作
9月～平成 29 年 2 月	PRイベントにあわせて鉄道車内広告掲出
平成 29 年 2 月～3 月	3次元CG（VR）のお披露目イベント
平成 29 年 1 月	外国語版下野谷遺跡関連ホームページ・ガイドブック作成

【問い合わせ】 ①教育部社会教育課（TEL：042-438-4079）

②生活文化スポーツ部産業振興課（TEL：042-438-4041）

③④企画部秘書広報課（TEL：042-460-9804）

資料 2 のポイント**地方創生加速化交付金を活用**

- ① 3次元CGのデジタルコンテンツにより、南関東最大規模の縄文集落の当時の姿が見え、価値や魅力を体験することができる。
- ② 遺跡のPRイベントを行い、地域の連携と活性化を図る。
- ③ 西武鉄道的全車両に広告を掲出することで、相互乗り入れしている地域などにも広くPRすることができる。
- ④ 自動翻訳システムを使用せずに直接外国語で閲覧することができる特設ページを作成することで、「下野谷遺跡」が外国人にとって検索しやすくなる。また、ガイドブックからは、紙媒体の情報だけでなくQRコードでホームページへ誘導し、外国人に西東京市の魅力をを効果的にPRすることができる。